

VI がんばる農家、がんばる地域プラン支援事業 認定プランの概要

県では、新しい取組にチャレンジし農業経営を発展しようとする農業者、地域等を支援するため、がんばる農家、がんばる地域プラン支援事業を実施している。主なプランの概要は次のとおり。

1 がんばる農家プラン支援事業 認定プラン

No.	認定年度	プラン概要	
1	H25	申請者	トゥリーアンドノーフ株式会社
		プラン名	有機農産物を活用した地域興しプラン
		概要	有機 JAS 認定ほ場を拡大し独自ブランドの構築を目指す。さらに鳥取市気高町逢坂を有機農産物の産地として知名度を上げることで地域農業の活性化を目指す。また、その有機農産物を生鮮野菜として全国にネット販売するとともに、一時加工品を関連会社他へ販売する。
		支援事業の内容	【H25 年度】作業選果場施設、中古育苗ハウス、中古トラクター 23ps、畝立整形機、マルチロータ、自走式動噴機、ハンマーナイフモア(つる刈機)、堀取機 【H26 年度】管理機及びアタッチメント、草刈機、有機肥料散布機、選果・出荷・在庫スペース (ハウス)、サツマイモ自動洗浄機、ダイコン自動洗浄機、ニンジン自動洗浄機、自動選別機、中古トラクター20ps、ハンマーモア 【H27 年度】ジャガイモ土落機、トラクター30ps、自走式収穫機、自動選別機、自走式噴霧器
		目標	●経営面積 H24 : 120a→H28 目標 : 970a
		備考	●平成 24 年 4 月に会社を設立。
2	H26	申請者	鳥取こけ農場 LLP
		プラン名	今こそ、こけ栽培！新規事業参入 ～俺たちの農業経営改善プラン～
		概要	水稲、梨、らっきょうの生産農家 3 名で有限責任事業組合を設立し、保管作物として、コケ栽培に取り組む。初期は主に国内海外のガーデニング資材として出荷する計画で、無土栽培により新たなブランド確立を目指す。将来的には建物緑化事業者との業務提携も視野に入れる。また、耕作放棄地を利用して、栽培面積の拡大を図る。
		支援事業の内容	【26 年度】育苗箱 51 型、防草シート、不織布、タネ苔、パッカー 【27 年度】育苗箱 51 型、防草シート、不織布、タネ苔、パッカー 【28 年度】育苗箱 51 型、防草シート、不織布、タネ苔、パッカー
		目標	●コケの栽培面積を 26 年より毎年 30a ずつ 28 年まで拡大。28 年から毎年、箱数で約 9,000 個のコケを出荷する。
		備考	●平成 25 年 12 月に鳥取こけ農場有限責任事業組合を設立。
3	H27	申請者	有限会社 山岡 代表取締役 山岡 茂
		プラン名	地域の農地を守って、攻める農業 ～経営継承後の農業経営改善プラン～

		概要	父から継承した水稲中心の農業経営について、経営規模の拡大、付加価値を付けた有利販売により、儲かる農業経営の実現と集落の農地を守る取り組み。 個人販売の維持・拡大による販売額の向上、作業受託面積の拡大による耕作放棄地の拡大防止を図る。
		支援事業の内容	【27年度】玄米色彩選別機 【28年度】田植機（5条植え） 【29年度】コンバイン（4条刈り）
		目標	●販売収入 H30年目標 10,000千円 ●作業受託面積 H26年実績：15.0ha→H30年目標：23.0ha
		備考	●平成9年9月に会社を設立。
4	H27	申請者	株式会社 西日本ジェイエイ畜産
		プラン名	資源循環型農業の実現を目指すプラン ～地域内耕種農家との連携による「資源循環型農業」の実現に向けて～
		概要	採卵鶏・肉豚への飼料用米の給与を行っており、飼料用米への鶏糞の利用拡大、未利用稲わらの収集による資源循環型農業の実現を目指す。 今回のプランでは、鶏糞の自動成形機、マニアスプレッダー等の整備により鶏糞の利用拡大を図るとともに、自走ロールベアラー導入により稲わら収集体制を整え、県内産飼料用米・稲わらの安定的な確保と、耕種農家の所得向上を図る。
		支援事業の内容	【【H27年度】鶏糞自動成形機、自走ロールベアラー 【H28年度】マニアスプレッダー、キャリアカー 【H29年度】タイヤショベル、ダンプ
		目標	●飼料用米取引量 H26：88トン→H30目標：152トン ●県産稲わら取引量 H26：165.8トン→H30目標：204トン、自給率：25% ●鶏糞産廃処理数量 H26：1,300トン→H27以降：0トン
		備考	●平成10年2月に会社を設立。

2 がんばる地域プラン支援事業 認定プラン

No.	認定年度	プラン概要	
1	H24	申請者	鳥取市
		プラン名	未来につなぐ鹿野町農業振興プラン
		概要	○担い手確保、育成、新規農業従事者の確保、農地の効率化、維持管理 ○核となる品目の生産振興 ・生姜 規模拡大（種生姜購入経費支援）、栽培技術向上、保管穴確保（量が増えたらコンテナ整備）、品種の統一、販路開拓、新商品開発 ・そば 新品種の検討（実証圃設置）、規模拡大、収量向上対策（排水対策）、収穫及び乾燥の委託、販路開拓、新商品開発 ・獣肉 町内での取扱店の開拓、イベント等によるPR他

		支援事業の内容	○推進事業：種生姜助成、そば新品種実証圃設置 ○整備事業：汎用コンバイン、そば選別機、計量機、バキュームハンド、格納庫、汎用乾燥機、溝堀機、コンテナ
		目 標	●生姜 作付面積：3ha(H29) ●そば 作付面積：50ha(H29)、収量：20t(H29)
2	H25	申 請 者	鳥取いなば農業協同組合
		プラン名	いなば白ねぎ倍増プラン
		概 要	○白ねぎの栽培面積を倍増してらっきょうに次ぐ野菜の特産品をつくる。 ・新規生産者の掘り起こし ・周年栽培、販売の取組：春ねぎ、夏ねぎの作付推進 ・既存生産者の増反：1戸当たり20aの経営規模を目指す ・専業農家の育成：70a以上の経営農家を育成 ・安定販売の取組：重点市場の市場占有率向上
		支援事業の内容	○推進事業：苗代助成、 ○整備事業：育苗ハウス、予冷库、セル移植機、セル播種機、皮剥き・コンプレッサー、根葉切り機等整備
		目 標	●栽培面積 42ha ⇒ 80ha ●栽培戸数 281戸 ⇒ 400戸 ●出荷量 602t ⇒ 1,420t